

# 第1回スガウエザリング Web セミナー2021

日 程：2021年2月1日（月）～5日（金）

開 催：オンライン上のオンデマンド配信 ※

参加登録制

聴講無料

テキスト代 2,000円(消費税込) PDF でダウンロード

定員 300名

後 援： 文部科学省

協 賛： (一社) 軽金属製品協会 (公社) 高分子学会  
(一社) 色材協会 (公社) 自動車技術会 (一社) 繊維学会  
(一財) 日本ウエザリングテストセンター (一社) 日本建築学会  
(一社) 日本照明工業会 (一社) 日本ゴム協会 (一社) 日本塗料工業会  
日本プラスチック工業連盟 (一社) 日本防錆技術協会  
(一社) 表面技術協会 (公社) 腐食防食学会 スガ試験機株

主 催： 公益財団法人 スガウエザリング技術振興財団

※

～参加者の皆様へ重要なお願い～

Web セミナーは参加登録した本人のみが参加できるものであり、参加者限定の情報（ログイン ID・パスワード・セミナー動画閲覧 URL 等）を第三者に伝えないようお願いいたします。  
また、セミナー動画の画面録画・録音・コピー等は禁止いたします。

## ■ プログラム

### テーマ ウェザリングの基礎

開催	<b>オンライン上のオンデマンド配信</b>	
プログラム	日程	
<b>2021年2月1日(月)～5日(金)</b>		
	ご挨拶	理事長 須賀 茂雄
[1]	<b>【耐候】(30分)</b> CIE 241:2020 (Recommended Reference Solar Spectra for Industrial Applications) の発行 — CIE 85:1989 からの改正 —	(公財)スガウェザリング技術振興財団 耐候研究委員会 <b>喜多 英雄</b>
[2]*	<b>【耐候】(20分)</b> 特徴ある地球環境に曝されたプラスチックの劣化事象から — 地球環境の多様性を考える —	(公財)スガウェザリング技術振興財団 耐候研究委員会 <b>渡辺 真</b>
[3]*	<b>【耐候】(20分)</b> 分光老化試験の重要性と国際標準化、試験の実例紹介	スガ試験機(株) 色彩課 <b>吉本 貴子</b>
[4]*	<b>【腐食】(30分)</b> 腐食促進試験規格 ISO 9227, ISO 14993, IEC 60068-2-52 の解説と 各試験方法における鋼板 SPCE の腐食減量	スガ試験機(株) 開発部 <b>長谷川 和哉</b>
[5]	<b>【色彩】(20分)</b> 像鮮明度の測定原理と光沢・ヘーズ・像鮮明度の測定値比較	スガ試験機(株) 色彩課 <b>田中 智</b>

\* [2]、[3]、[4] の講演は、「スガテストフェア 2019 技術セミナー」のアンコール講演

## ■講演概要

### [1] 喜多 英雄

1989年に発行されたCIE 85は太陽放射の分光放射照度の報告書で、特に地表上に到達する太陽放射の分光放射照度のTable 4は、太陽放射のベンチマークとしてISOをはじめIEC、ASTM、SAEなど世界中の多くの促進耐候性試験規格に長年引用されてきた重要なTableである。以前より改正議論があったが、4年前より新TCが設置され国際審議が進み、この度、新たにCIE 241:2020として発行された。これに伴いCIE 85:1989は廃止された。主な改正点は、測定波長間隔の変更、紫外短波長域(305nm以下)の規定、最新の計算式の採用、入力パラメーターの明確化である。本講座ではCIE 241新規発行までの経緯、CIE 85からの改正点について解説する。

### [2] 渡辺 眞

屋外暴露された高分子の劣化は、しばしば促進劣化された場合との比較が行われているが、さまざまな屋外暴露試験場に暴露された高分子劣化についても、相互の劣化性状の関係性が明らかにできないのが現状である。本講座では高分子の光酸化反応を中心とする自然劣化の環境依存性について近年の動向を発表する。また屋外暴露試験結果と促進耐候性試験結果から統計的手法を用いた劣化予測研究について、その取り組みを紹介する。

### [3] 吉本 眞子

身の回りにある物質は、太陽光の波長により異なった劣化感度(分光劣化感度)をもっている。そのため、各波長での物質の劣化特性を評価することは非常に重要である。ISO/TC61/SC6(プラスチック/耐候性)で日本提案により規格化された分光老化試験(ISO 21475:2019)の目的・試験方法について、プラスチックや画像出力等の試験結果を用いながら説明する。

### [4] 長谷川 和哉

腐食促進試験は、試験対象材料毎に、使用環境や使用目的に応じて、さまざまな試験方法が規格化され実施されている。その中でも世界的に広く用いられている代表的な腐食促進試験規格に、ISO 9227、ISO 14993、IEC 60068-2-52がある。本講座では、各試験規格においてISO 9227規定の腐食照合試験片(鋼板)を用いて行った腐食減量の比較結果を紹介し、各試験規格の試験の特長と厳しさを解説する。

### [5] 田中 智

像鮮明度とは、金属や塗装表面に写り込んだ物体の像、又はフィルムなどを透過して見える物体の像が、どの程度鮮明にゆがみなく見えるかの度合を表す。複数の異なる仕上がりの塗装鋼板に写りこんで見える像の鮮明さを、目視による評価と測定器による評価を比較しながら像鮮明度の有効性を説明する。また促進耐候性試験後の塗板の見た目の評価を、従来は色差や光沢残存率で行っているが、像鮮明度と合わせて評価した事例を紹介する。

## ■参加申込方法★

参加をご希望の方は、当財団Webサイト (<https://www.swtf.or.jp/>) の参加お申し込みページにてお申し込みください。

登録完了後メールにてご返信いたします(定員になり次第締切りとさせていただきます)。

聴講無料ですが、テキストをご入用の方は、別途テキスト代(2,000円)をお支払いください。



[www.swtf.or.jp](http://www.swtf.or.jp)

公益財団法人スガウエザリング技術振興財団

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-4-14

Tel : 03-3354-5248 Fax : 03-3353-4753

E-mail : [tokyo@swtf.or.jp](mailto:tokyo@swtf.or.jp)

★参加受付業務は(株)JTBへ委託しております。(公財)スガウエザリング技術振興財団のプライバシーポリシー同様、参加申込に際して、お預かりした個人情報を本セミナー以外の目的に使用することはありません。